

秋たけなわのロングトレイルを歩く 信越トレイル (§ 4 ~ 6)

- 実施日 2022年10月15日(土)~17日(月)
 天候 15/16日 曇一時晴れ 17日 曇
 リーダー 涌井 良明
 参加者 涌井良明、山崎富美恵、石附智江、遠井謙策、徳山敬子、阿部みゆき 計6名
 費用 JR12,300円(東京起点ジパング適用) 宿泊15,200円(旅割適用)
 タイム 10/15 飯山(8:18 乗)松之山口(9:30~40)天水山(10:50)三方岳(12:15~40)昼食)深坂峠(13:10)野々海峠(14:20)須川峠(16:35)伏野峠(17:10)宿舎(18:10)
 10/16 宿(8:00)伏野峠(9:00~10)幻の池(10:35~40)宇津ノ俣峠(11:20)花立山(12:15~50)昼食)牧峠(13:30)梨平峠(15:15~25)関田峠(16:00)宿舎(16:50) 泊
 10/17 宿(11:00)道の駅千曲川(11:30~12:00)買物)飯山駅前(12:30~13:30)昼食)飯山駅(14:00~12)はくたか564)大宮駅(15:27)東京(15:52)

過去3回のキャンセルで実施に恵まれなかった信越トレイルの§4~6だが今年やっと実施することが出来た、とは言え、今回も§4をわざと?(じゃない)残して苗場山まで4セクション延長されたトレイルを今後も楽しめるようにしてきた?(@_@)

さて、勇躍?飯山駅に降り立ったメンバーは§1~3同様選抜された6名は、小型になっていた宿のミニバンに今回はダイちゃんではなくご主人の運転で§6の松之山口に向かう、今回は§6~4と逆走コースで歩くことにした。多少は行程が楽なのと帰路に駅まで近くなることでの選択です。



9時40分に松之山口をスタート、天水山へ向けて登る、私にとってはまる1年ぶりの

山行で最初から不安しかないなかでの歩き出しである、それほど急ではない道を行く。所々に混じった秋の黄葉がなかなか気分が良い。

但し、メンバーには申し訳なかつたが、ピッチはまさに牛歩の歩みでのろのろと登っているような気がしていた。(その通り)



誰にも会わず標準よりやや時間を費やして今回最初のピーク天

水山に到着。静かな頂でしばし一息、苦勞して集合写真に収まり、先に進む。

これから先の行程の進行方向

右側になる新潟県側はコースの殆どが一気に切れ落ちていくのが特徴的である、尤もほぼ深い藪になっており、崖っぷちを歩いている感覚は無く気分は普通の山道といった感じだ。但し脚を突っ込むと当然だが落ちる(>_<)



やはり無
人だった
三方岳で
昼食、当
方は久し
振りの山
ランチ、差

入もあって腹一杯午後の歩きが心配？(☹)

意外と藪っぽい道の登降で§1~3より歩く人が少ないのか？或いはもう信越トレイルは人気が無くなってしまったのだろうか？

立派な石碑と気持ちよい広場の深坂峠を過ぎる秋を感じる色付きのトレイルを進



んで野々海峠、ゴールの伏野峠は6.6キロとある、もう疲れたよ！まだそんなに歩くのか…

ちっちゃな池に希少植物保護の注意書きを見て、キューピットバレースキー場のゴンドラ山頂駅への分岐を見てひたすら伏野峠へ向かう。

標準タイムだと暗くなる直前位になりそうなので、秋を楽しむ歩きからとにかく前へいった気分で進んでいく(でもそ

んな思いはオイラだけ？)

ゴール手前の須川峠で残り1.7キロヤレヤレ、その先1094メートルピークからは一気に急降下してゴール



の伏野峠の舗装路に降り立った。17時08分、行動時間7時間半、あーあ脚も体もイデデ〜。

送迎車で暗くなった道を1時間揺られて世話になる『まろうど』にチェックイン。

広い風呂とビールで、何とか気分は生き返ったが、明日に備えて早々にベッドへ(-_-)° zzz…

明けて2日目、両脚が筋肉痛でイデデ〜オ(古い(-_-;))窓から見える木々がうっすら靄っている。

今日は朝食済ませ順調に8時に送迎車で昨日下山した伏野峠に向かう、天気は雲は多いが青空も見えて何とか大丈夫そうである。

昨日より30分ほど早く9時10分に§5をスタート。距離は長くなかったもののいきなりの登り道だ。

小さい登降になって相変わらず右側が切れているので眺めは良くまだ緑が多い山肌がうねっ



ている。遥かに海岸線も分かり、高くはないがひとときわカッコイイ

頂は米山だろうか？

初めのピッチは元気が持続、



1時間以上も
進み、幻の池
で休憩する、
ぽっかり開け
た池は静かに
佇んでいる、

周囲の木々が青空と綺麗なコントラストだ。

青空に元気をもらい時折右の眺望も楽しみつつ進み、宇津ノ俣峠に降り立つ。

宇津ノ俣口からの道が合わさる。

日曜でも行き交うハイカーはそれほど多くはないが単独或いは数名でのパーティと時々遭遇しながら先に進む。



次の花立山は心配していた急登もなくてヤレヤレといった感じで到着。

丁度昼時で宿で準備してくれた弁当とお茶でランチタイムです。青空と黄葉もおかずの足しにしてハラも満たされました。

花立山からは逆走でなければ登らなければならなかった傾斜の急な道が下りとなって辛さはないが、滑りに注意して下り更に登降を経てから牧峠で一旦舗装路に降り立った。



ゴールの関田峠の着時間も多少余裕も出てきたので、

秋を楽しみつつ進む、牧峠からは登降も緩くなったようで疲れた体にはありがたい、更に青空と言うのは山ヤにとって何とうれしい存在なのかを今日は改めて思い知らされている感じだ、尤も私は一年ぶりの山なのでしんどさはともかく自然に身を置いているのが知らず知らずうれしいのかも…？

気持ちの良い小さな牧ノ小池で一息、静かな池面が周りの木々の見



事な鏡になっている、山中に静まりかえった不可思議な異空間のようだ。

ルートは相変わらず小さく登降を繰り返していくが、§5はガイドには大部分が国有林であり伐採も制限されておりブナの回廊なるキャッチフレーズ



がつけられているが、なるほど立派？なブナが目立つが目立っている

るのは雪に押し曲げられた幹やあらぬ方向へ延びざるを得なかった見事な枝振りなど多雪地帯の特異な樹林帯につけられたトレイルを辿っていく。

特徴の薄い大神楽山を越して緩く登降して梨平峠に着く。



ヤレヤレこ

これから先はゴールまで残りワ
ンピッチで行ける距離になる
も、途中で出送迎の連絡を入
れた予想到着時刻よりやや押
しているため下りと平坦に近
い道ではカラ元気の力をいれ
て少しピッチを上げるつもり
でスタート。が、下り気味で
始まったラストピッチも緩い
が登り道もかなり多く自分に
ハッパかけつつ歩いたつもり
だったが他の皆さんはどうだ
ったでしょうか。

尤も明日3日目は高確率の雨
予報で§4は歩かずに済みそう
だなどとの気分も手伝っていた
のは歩きながらも意識していた
のは自覚していたかも(@_@)



おかげで唯一標準
タイムを若干短縮
できた区間でもあ
った😊

予定した通りほぼ1
6時に関田峠に降り
立つことができた
バンザイ！！

私にとっては一年ぶりに歩いた
長時間かつ本格的な山道でとにか
くも2日間2セクションを歩くこ
とが出来て満足感があった。

宿への帰路で途中大神楽展望台
で目の前に広がる展望も楽し
でなわけでもまだ明るいうちに宿
に帰ることが出来た。

Beerで乾
杯と美味
い夕食で満
足感に浸る



(3日目の歩きはキャンセルになった)

3日目、僅かに青空が覗いて
いるが、昼頃からの降雨確率
は変わっていない。なので午前
中はしばらく宿でノンビリ過
ごした。

昼前にはとりあえず各人の
お土産を買うべく宿を出発。

平日とは思えない賑わいのリ
ニューアルオープンされた道
の駅に向かい、それぞれお気
に入りの土産を買い込んで、
飯山駅へ送ってもらった。

駅前の粉もん専門店でお好み
焼きランチと♨の乾杯をして
から帰路に着いた。

トレイルは§4が残り苗場山
まで延長されたこともあって、
§4&§7~10と5セクションが
残っていることになった。

全線踏破が遥かに遠のいてし
まったが、出来る機会があれば
チャレンジしたいものである。

メンバーの皆様大変お疲れさ
までした。また、皆さんのい
ろいろな面での協力にも感謝
申し上げます。

また思いがけず適用できた全国
旅行支援で宿泊料金のディスカウ
ントやお土産クーポンのお得感も
味わえたのもラッキーだった。

次回また残っている区間の信
越トレイルの機会があれば再
び皆さんと集って歩けたらウ
レシイですね。

やはり仲間と自然の中を歩け
るのは楽しいものです。

こぶし会は山と自然の歩きを
楽しむ会なので会員の皆さん
にも是非ロングトレイルも歩
いてみることをお勧めします。

(記&写真・涌井 良明)

(写真提供・遠井謙策)